やまぐちユニセフ通信



No. 17

2022年春号



≪発行≫ 山口県ユニセフ協会

ウクライナ緊急募金にご協力ください。



危機下にあるウクライナの人々

ウクライナ全域で何十万人もの人々が、紛争による水道インフラの損傷によって安全な水を利用できていません。また、電気・暖房設備などのインフラや学校等が被害を受け、子どもたちの命と安全な生活が脅かされています。 心理社会的ケア等の保護サービス、予防接種や緊急医療を含む質の高い医療サービス等に、家族がアクセスできない状況です。

安全な場所を求めて避難する家族。国境を越えても、子どもたちの苦難は続きます。

安全と保護を求めてウクライナ国内から周辺国に避難した子どもたちや家族は、数百万人にのぼっています。 避難した子どもの中には、おとなの同伴者がいない、あるいは親や家族と離れ離れになった子どももたくさんい ます。親による保護のない子どもたちはより一層、暴力、虐待、搾取の危険にさらされます。

ユニセフの活動 ~募金でできる支援例~

ユニセフはパートナー団体と協力し、緊急医療サービス、重要な医薬品、保健物資・機器、安全な飲料水や生活 用水、自宅からの避難を余儀なくされた人々の避難所や保護などに取り組んでいます。



1錠で4~5リットルの水を浄化できる<mark>浄水剤9,493錠分</mark>に変わります



軽いけがや病気などに対応するための、 包帯、テーブ、手袋、はさみ、毛布、眼 軟膏剤、消毒剤などが入っている緊急医 薬品キット1キット分に変わります



生徒40人分と先生一人分の基本的な学用品 (鉛筆、ノート、消しゴム、定規、色鉛筆 1箱など)が入っているスクール・イン・ ア・バッグ1セットに変わります



子どもを寒さから守る、大きめの毛布57 枚分に変わります

●全国の郵便局(ゆうちょ銀行)窓口からお振込みできます。

振替口座:00190-5-31000

口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

- *通信欄に「ウクライナ」と「K1-350」と明記ください。
- *窓口でのお振込は、送金手数料が免除されます。
- *寄付は所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。



日本ユニセフ協会 ウクライナ緊急募金特設ページ

ウクライナでの

ユニセフ活動報告

危機が深まる中、ユニセフはウクライナ国内および近隣諸国の子どもたちと家族が 必要とする支援を届けるために、24時間体制で支援活動を続けています。 ウクライナと周辺国におけるユニセフの人道支援活動を支えるため日本ユニセフ協 会が2月25日に開設した「ウクライナ緊急募金」に、非常に多くのご協力をお寄せ いただいております。あたたかいご協力に心より御礼申し上げます。

ウクライナ国内における、ユニセ<mark>フの支援活動(3月16日時点)</mark>

- 3月5日に第一便として到着したユニセフ支援物資のうち、助産キット、産科キット、外科医療キット、救急バッグ、 診断用および治療用の医療器具を、キエフ市内および周辺地域の一時保管施設に届けました。 また同様の物資を、チェルニヒフ、キエフ、ハルキウ、ポルタヴァ、ドネツクの最も被害を受けている地域の20の 病院・医療施設にも提供しており、約2万人の妊婦や子どもたちの救命医療を支えています。
- 68トンのユニセフ支援物資を積んだ22台のトラックが、今後数日間でリヴィウに到着する予定です。
 - 物資には、保健・医療用品(助産キット、手術キット、産科キット、 酸素濃縮器、保冷ボックスなど)、毛布や冬服、衛生用品、幼児期の 子どもの発達を支える学習キット、心のケアにつながるレクリエーショ ンキットなどが含まれています。
- ・衛生用品キット(家庭用・妊産婦用・施設用)、赤ちゃん用おむつ、消 毒剤、ペットボトルの飲料水などを、ウクライナ東部の保健施設などに 提供しました。これらの物資は、紛争の影響を受けている家族に配布さ れます。



© UNICEF/UN0606251/Filippov

- ウクライナ全域の子どもたちの保護と心理社会的サービスを拡大するた リヴィウ最大の小児病院へ運び込まれる、ユニセフの医療、教育、 め、移動式子ども保護チームは、9チームから47チームへと人員を増 レクリエーション支援物資。(ウクライナ、2022年3月11日撮影) やしています。
- キエフ市内と周辺の5つの産院の5,000人の妊婦と新生児のニーズに応えるため、救命救急のための医療用品を提 供しています。
- 子どもがいる家庭の基本的なニーズを満たすため、26万5,000世帯以上を対象に現金給付支援を予定しています。



© UNICEF/UN0604107/Boyko

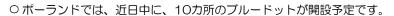
• ウクライナ国内ではすべての学校が閉鎖されており、子どもたちの教育の 機会も失われています。学習の再開を支援するため、100の移動式の学習 支援チームを編成しています。

そのうち15チームは、交通機関の駅、集合センター、国境に常駐し、約 6,000人の子どもたちに支援をする予定です。また今後数日間で、乳幼 児期の子どもの発達をささえるECDキット160個を配布し、未就学年齢 の子どもたち約8,000人の学習を支援する予定です。

ウクライナ周辺国における、ユニ<mark>セフの支援活動(3月16日時点)</mark>

- ・ ユニセフは、ウクライナ国内にいる子どもたちだけでなく、国境を越えている150万人の難民の子どもたちにも 支援を提供しています。難民の家族の避難生活を支えるため、衣類、寝具、毛布、テント、発電機、ベビーフー ド、栄養補助食などの支援物資を提供している他、予防接種や教育支援、心のケア支援、現金支給支援をおこなっ ています。
- またユニセフは、ウクライナの子どもたちと家族の安全を守るための「ブルードット」という支援拠点を、ウクラ イナと国境を接する周辺国の26カ所への設置をすすめています。

- ・非常事態の際、幼い子どもは特に人身売買や虐待などのリスクにさらされるため、子ども一人ひとりを登録し、安全な 居場所を確保し、必要に応じて保護することが非常に重要です。
 - ブルードットでは、難民の家族への支援として、食料や水の提供、交通 手段や宿泊場所を確保するほか、健康チェックも行います。子どもたち 用の遊び場もあり、子どもの保護の専門家による心のケア支援も提供し ています。各国のブルードット設置の状況は下記のとおりです。
- モルドバでは、オタチ国境、パランカ国境、モルデエキスポ受付センター近くの3カ所で、ブルードットが稼働しています。
- 〇ルーマニアでは、シゲット国境にブルードットが設置され、危機が始まって以来、すでに約2,500人のウクライナの女性と子どもたちが利用しています。





● UNICEF/UNU00/338/English ポーランドの難民受け入れセンターにて、ユニセフのスタッフから風船を 受け取る3歳のタラスちゃん。(ポーランド2022年3月10日撮影)

○ハンガリーとスロバキアにおいても、ブルードットの設置が計画されています。

募金は日本ユニセフ協会を通してウクライナへ支援されています

お寄せいただいた募金は、今月3日に200万米ドル(約2億3,000万円)、15日はさらに500万米ドル(約5億8,400万円)を拠出いたしました。お寄せいただく募金は、今後も随時、拠出をおこなってまいります。 引き続きのご協力をお願いいたします。

山口県ユニセフ協会の

活動報告

2月に予定していた理事会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、書面による開催となりましたが、2022年度の県協会基本方針案が全理事承認のもと確認されました。

●理事会にて2022年度方針を確認しました。

●2022年度基本方針

県内の団体・企業・個人とのネットワーク作りを積極的に進め、ユニセフ活動への理解と支援の輪を広げます。

- ・設立から4年が経過しましたが、その内2年間は新型コロナウイルスの影響で活動は大きく制限されました。
- 今後のwithコロナの社会の中で設立の目的であるユニセフ活動広報(世界の子どもたちの現状と子どもたちへのユニセフの支援活動)およびユニセフ募金活動を停滞することなく前進させていくことが課題です。
- 2022年度はここ2年間停滞した広報活動を、県内各地のコロナ感染状況に合わせた細やかな計画、オンライン活用等によって積極的に進めていきたいと考えます。



ソーシャルディスタンス

●2022年度4つの重点課題

県内を7つに分けて担当する各地域事務局の主体的な活動の充実を図り、各地域の中でユニセフ 支援活動が理解され、支援の輪が広がることを目指します。

県協会が主催する催事企画の充実や新規開発、また、他団体が開催するイベントへの積極的な 参加を行います。

中学、高校、大学とのネットワーク作りと学生ボランティアの拡大を目指します。

withコロナ社会での活動推進とコミュニケーションの強化、また、幅広い層への広報を目指して、オンラインによる取り組みも進めます。



山口県ユニセフ協会の

今からの予定

● 県協会恒例企画となった宇部ときわ公園でのユニセフ・ラブ・ウォーク。 これまでにご参加いただいた皆さんからも大変ご好評いただいています。 貴方のご参加、お待ちしています!!

一みんなで新緑の中を楽しく歩きませんか?!-

ユニセフ・ラス・ウォーク in ときわ公園

T.Z.Z.Z.

参加者募集!!

- ●日 時 **5月21日(土曜日)** (小雨実施 中止の場合は前日連絡) 午前11時00分~午後2時00分
 - *受付開始10時30分~(10:50までにはお越しください)
- ●集合場所 ココランドホテルの一番下の駐車場
 - * 当日ココランドホテルの一番下の駐車場をユニセフ・ラス・ウォーク専用駐車場として開放します。
 - * これまでの集合場所から変更になっていますのでご注意を。
- ●募集人数 **30名**
- ●参加料 1名につ1000円(大人・子ども同額)
 - *参加料は美味しい「お弁当」と「お茶」代金を含みます
 - * また参加料はうち、200円をユニセフへ募金させていただきます
- ●お申込み 電話またはQRコードからお申込みください

※定員になり次第締め切ります お早めに!

(申し込み・お問い合わせ先) 山口県ユニセフ協会 ☎083-902-2266

月~金10:00~16:00受付



申し込みフォーム

- - ときわ湖周回コース(約6km)を昼食休憩を はさんで景色を楽しみながら歩きます。
 - ♡ ユニセフのDVD鑑賞&景品のもらえるクイズも!

*新型コロナウイルス感染防止にご協力ください!

- 当日は検温をおこないます。
- マスク着用でご参加ください。
- アルコール(事務局用意)消毒をお願いします。

贊助会員募集してます!

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。

現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。

山口から世界の子どもたちを支えましょう!

種 類	対 象	質助会費	
一般質助会員	個人	-0	5,000円
学生贊助会員	学生 (18歳以上)	-0	2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	<u>–</u> D	100,000円

賛助会員期間は、入会月より1年間です。賛助会費は 寄付金控除の対象になります。

一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

いつでもボランティア大歓迎!!

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろん あなたの好きなことをユニセフ活動にいかして みませんか?

♪絵や文章を書くのが好きな方♪子どもがすきな方♪手作りするのが好きな方♪パソコンが得意な方

♪学習会の組み立てを一緒に考えてくれる方

などなど



山口県ユニセフ協会

〒753-0083

山口市後河原210番地

TEL083-902-2266

FAX083-928-5416

E-mail:info@unicef-yamaguchi.jp

URL: https://www.unicef-yamaguchi.jp

ボランティア登録、資料請求、その他 お問い合わせ等は、事務局までご連絡 ください。

また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

受付日 : 月・火・水・木・金 受付時間: 10:00~16:00 山口県教育会館の裏になります。